

授業科目	開講年次	開講期	単位数	時間数	講師
在宅看護概論	2年次	前期	1	15	笠原

授業概要					
日本の在宅看護の変遷とその社会背景から在宅看護の必要性、目的、基本理念を学ぶ。在宅看護の対象者を理解し、看護職の役割と在宅療養を支援する制度と社会資源について学ぶ。					
回	教科書頁	授業計画・授業内容			授業方法
1	教科書 第1章 p2～17	在宅看護の基盤 1. 在宅看護の理念と対象 ①在宅ケアを必要とする背景 ②在宅看護の目的と位置づけ ③在宅看護の機能と提供機関 ④在宅看護の基本理念 ⑤在宅看護の対象理解 ⑥在宅看護の基本倫理			講義
2	教科書 第1章 p18～32	在宅看護の基盤 2. 在宅看護の変遷 ①在宅看護の原点 ②我が国における在宅看護の始まり ③公衆衛生看護活動としての発展 ④我が国における在宅看護の制度化 ⑤我が国における在宅ケア・在宅看護の発展			講義
3	教科書 第2章 p34～63	在宅看護を支えるしくみ 1. 在宅看護を支える制度 ①医療保険制度 ②介護保険制度 ③障害者支援に関する制度 ④高齢者虐待防止に関する制度			講義
4	教科書 第2章 p63～77	在宅看護を支えるしくみ 2. 訪問看護の制度と機能 ①訪問看護の目的、機能、特徴 ②訪問看護の実施形態 ③訪問看護ステーション ④訪問看護に関する制度 ⑤訪問看護のしくみ、質の保証			講義
5	教科書 第2章 p78～94	在宅看護を支えるしくみ 3. 地域包括ケアシステム ①地域包括ケアシステムの必要性と目的 ②地域包括ケアシステムの機能と構成 ③地域包括支援センターの機能 ④地域包括ケアシステムづくり ⑤地域包括ケアシステムの実際			講義
6	教科書 第3章 p96～109	在宅看護における支援の基本 1. ケアマネジメント ①在宅ケアにおける社会資源 ②ケアマネジメントの変遷 ③ケアマネジメントの展開 ④チームケアと多職種連携 ⑤継続看護 ⑥退院支援 ⑦介護保険制度におけるケアマネジメント			講義
7	教科書 第3章 p110～126	在宅看護における支援の基本 2. 在宅看護における家族支援 ①家族の定義、機能、発達段階 ②看護の対象としての家族 ③家族のアセスメント ④在宅看護における家族支援の実際			講義
8	教科書 第3章 p141～161	在宅看護における支援の基本 3. 在宅におけるリスクマネジメント ①リスクマネジメントの概念 ②ヒューマンエラー ③在宅におけるアクシデントの特徴 ④在宅におけるインシデント・アクシデント防止策 ⑤在宅看護におけるリスクマネジメントの実際			講義
評価方法	講義の出席数・参加態度・事前学習・事後学習・提出物・テストで総合的に評価する。				
教科書	メジカルフレンド社:新体系看護学全書 在宅看護論 メディカ出版:ナースングラフィカ 在宅看護論 地域療養を支えるケア				

授業科目	開講年次	開講期	単位数	時間数	講師
在宅日常生活技術	2年次	後期	1	30	青木

授業概要
在宅療養者と家族との円滑な人間関係をはかるためのコミュニケーションのとり方、在宅生活を継続するための生活調整・教育・家族相談の方法、居宅訪問に必要なマナーを身につける。在宅看護に必要な日常生活援助の実際を学び、技術を習得する。

回	事前学習	授業計画・授業内容	授業方法	事後学習	
1	コミュニケーション技術について復習しておく	在宅を支えるコミュニケーション技術 ・在宅におけるコミュニケーションの基本 ・家庭訪問技術 ・ケア会議のコミュニケーション技術	講義	復習	
2	教科書を読んでおく	在宅看護でのコミュニケーション ・訪問看護に至るまでの経過 ・初回訪問 ・利用者、家族と接する際の心構えと留意点 ・訪問する際の心構えと留意点 (訪問時のマナー) ・訪問後の記録について	演習	訪問時のマナーについてレポート提出する	
3	教科書を読んでおく	生活を支える技術と医療ケア ・食事・栄養の援助	講義	復習	
4	教科書を読んでおく	生活を支える技術と医療ケア ・排泄の援助 ・腹膜透析の援助	講義 演習	復習	
5					
6	教科書を読んでおく	生活を支える技術と医療ケア ・清潔の援助 ・ケリーパットの作成、洗髪	講義 演習	復習	
7					
8	教科書を読んでおく	生活を支える技術と医療ケア ・移乗・移動の援助 ・布団上での移動	講義 演習	復習	
9					
10	教科書を読んでおく	生活を支える技術と医療ケア ・呼吸の援助	講義	復習	
11	教科書を読んでおく	生活を支える技術と医療ケア ・褥瘡管理 ・服薬管理	講義	復習	
12		日常生活の援助の実際 ・脳梗塞後遺症の老年療養者の事例の紹介 ・事例の患者、家族を理解し必要な援助を考える ・必要な援助技術項目の具体策の立案	グループワーク	グループで話しあい、まとめる	
13		日常生活の援助の実際 ・具体策の実施、修正			
14					
15		日常生活の援助の実際 ・具体策の発表、評価			
評価方法	講義の出席数・参加態度・事前学習・事後学習・テスト・提出物で総合的に評価する				
教科書	メジカルフレンド社:新体系看護学全書 在宅看護論 メディカ出版:ナーシンググラフィカ 在宅看護論 地域療養を支えるケア インターメディカ:写真でわかる 訪問看護アドバンス				

授業科目	開講年次	開講期	単位数	時間数	講師
在宅治療処置援助技術	2年次	後期	1	30	笠原

授業概要					
在宅で療養する支援体制や在宅療養者と家族の状況を理解し、援助方法と実際を学ぶ。					
回	事前学習	授業計画・授業内容	授業方法	事後学習	
1	教科書を読 んでくる	在宅看護における支援の基本 1. ケアマネジメント ・在宅における社会資源 ・ケアマネジメントの変遷 ・ケアマネジメントの展開 ・チームケアと多職種連携 ・継続看護・退院支援 介護保険制度におけるケアマネジメント	講義	復習	
2	教科書を読 んでくる	在宅看護における支援の基本 2. 在宅看護における家族支援 ・家族の定義、機能、発達段階 ・看護の対象としての家族 ・家族のアセスメント ・在宅看護における家族支援の実際	講義 GW	在宅での 感染予防 方法につ いてまと める	
3	教科書を読 んでくる		講義 GW		
4	教科書を読 んでくる	対象の状態に応じた在宅看護 1. 在宅看護とエンド・オブ・ライフケア ・エンド・オブ・ライフケアの目的・意義、定義、対象 ・エンド・オブ・ライフケアのアプローチ ・エンド・オブ・ライフケアを支える在宅ケアシステム ・がん療養者・家族へのエンド・オブ・ライフケアと看護 ・非がん療養者・家族へのエンド・オブ・ライフケアと看護	講義 GW		
5	教科書を読 んでくる	対象の状態に応じた在宅看護 2. 在宅看護と難病ケア ・難病の理解 ・難病療養者を支える在宅ケアシステム ・難病療養者・家族への看護	講義 演習 (デモン ステー ション)	復習	
6	教科書を読 んでくる	対象の状態に応じた在宅看護 3. 在宅看護とリハビリテーション ・リハビリテーションの基本的な考え方 ・日常生活動作や廃用症候群の理解 ・地域リハビリテーション ・リハビリテーション期にある療養者・家族への看護	講義 演習	復習	
7	教科書を読 んでくる	対象の状態に応じた在宅看護 4. 在宅看護と精神障害ケア ・精神障害の理解 ・精神障害者を支える在宅ケアシステム ・精神障害者・家族への看護	講義	復習	
8	教科書を読 んでくる	対象の状態に応じた在宅看護 5. 在宅看護と重症心身障害児ケア ・重症心身障害者の理解 ・重症心身障害児を支える在宅ケアシステム ・重症心身障害児への看護 ・重症心身障害児をもつ家族の理解と家族支援	講義	復習	
9	教科書を読 んでくる	対象の状態に応じた在宅看護 6. 在宅看護と認知症ケア ・認知症の理解 ・認知症の療養者・家族への看護 ・認知症の療養者を支える在宅ケアシステム	講義	復習	
10	教科書を読 んでくる	対象の状態に応じた在宅看護 7. 在宅看護と要介護高齢者ケア ・要介護高齢者の理解 ・要介護高齢者を支える在宅ケアシステム ・要介護高齢者・家族への看護	講義	復習	

回	事前学習	授業計画・授業内容	授業方法	事後学習
11	教科書を読んでくる	対象の状態に応じた在宅看護 8. 在宅看護と介護予防 ・フレイルの理解 ・介護予防のための在宅ケアシステム ・フレイルな高齢者・家族への看護	講義	復習
12	教科書を読んでくる	対象の状態に応じた在宅看護 9. 在宅看護と高齢者虐待防止 ・高齢者虐待の理解 ・高齢者虐待防止のための在宅ケアシステム ・虐待防止や虐待対応における看護	講義	復習
13	教科書を読んでくる	インフォーマル、フォーマルな社会資源の活用 事例を用いて社会資源の提供について発表	グループワーク	グループで話しあい、まとめる
14	資料作成			
15	発表準備			
評価方法	講義の出席数・参加態度・事前学習・事後学習・テスト・提出物で総合的に評価する			
教科書	メジカルフレンド社:新体系看護学全書 在宅看護論 メディカ出版:ナースングラフィカ 在宅看護論 地域療養を支えるケア			

授業科目 在宅の看護過程	開講年次 2年次	開講期 後期	単位数 1	時間数 15	講師 笠原
-----------------	-------------	-----------	----------	-----------	----------

授業概要
在宅看護論における看護過程の特徴を理解し、事例を通して在宅療養上の課題をアセスメントし、療養生活の質の維持・向上のための援助方法・社会資源の活用を学ぶ。

回	事前学習	授業計画・授業内容	授業方法	事後学習
1	看護過程の方法、在宅看護の対象者について復習	在宅における看護過程 ・在宅看護過程展開のポイント ・在宅における看護過程の特徴 ・在宅における看護過程の実際	講義	
2	筋萎縮性側索硬化症(ALS)について	難病患者の看護 筋萎縮性側索硬化症(ALS)について 事例紹介(ALS)	講義 講義	ALSについて、(授業最終日に提出)
3	情報を整理しておく	事例の情報の整理	グループワーク	グループで話しあい、まとめる
4	事例に合わせた社会資源を調べる	未充足項目、看護問題の抽出 未充足項目から社会資源の抽出	グループワーク	グループワークのまとめを提出
53	発表準備	必要な社会資源の発表	グループワーク	グループで話しあい、まとめる
6		在宅に必要な援助の抽出	個人ワーク	復習
7		在宅に必要な援助の抽出	個人ワーク	復習
8		小テスト (在宅の看護過程・難病看護・ALSなどについて) 在宅に必要な援助の抽出	個人ワーク	指定日までに課題提出
評価方法	講義の出席数・参加態度・事前学習・事後学習・提出物で総合的に評価する			
教科書	講師の指定したもの			

授業科目	開講年次	開講期	単位数	時間数	講師
看護管理	2年次	後期	1単位	30	朝穂

授業概要					
授業概要					
看護の機能を統括的に理解し、管理の実際、人材育成、看護管理者の役割と責任を理解し、看護を管理すると共にチーム医療及び医療サービス組織における看護専門職者としての役割(メンバーシップ、リーダーシップ)を理解し自らの能力を発揮するために、看護をマネジメントできるための基礎知識を学ぶ					
回	事前学習	授業計画・授業内容	授業方法	事後学習	
1	看護師の業務範囲・保助看法について復習しておく	医療サービスの担い手としての看護と現代の社会状況 看護管理の定義・目的 チームでの看護・医療 他のサービス業種の違い(資格・責任など)	講義	看護師の社会的な背景を整理する	
2	医療保険・診療報酬を調べる	看護必要度、看護提供システム 医療保険制度と診療報酬制度、看護サービスと診療報酬制度について	講義	医療報酬のしくみと看護サービスの関係について整理する	
3		医療・福祉と経済 我が国の医療制度と展望	講義	社会が抱える医療に関する課題を整理する	
4	病院の概念と組織看護体制を調べる	病院の組織と看護部門の位置づけ 各施設の組織体制について 看護体制とその課題 管理者の役割と責任	講義	病院・看護部の組織と看護体制・看護業務について整理する	
5	看護職以外の医療従事者の業務内容を調べる	患者管理、看護業務、看護の評価と課題について コメディカル業務範囲の変化と他職種との連携と看護の位置付け	講義	復習	
6	教科書を読んでおく	組織論・リーダーシップマネジメント、メンバーシップについて	講義	メンバーシップへの自己の課題をまとめる	
7	教科書を読んでおく	医療サービスの担い手として看護師の位置づけや役割 看護職のエンパワーメント・コンフリクト(意見・利害の衝突)	講義	復習	
8	教科書を読んでおく	看護師卒後教育(現任教育)、プリセプター制度の概要とキャリア育成(クリニカルリーダー) 新人看護師としての人関係能力	講義 GW	復習	
9	教科書を読んでおく	看護の提供の場(地域・学校)と看護の役割 専門職業人としての展望	講義	復習	
10	医療事故の概念について、調べる	ヒューマンエラーと医療事故、医療事故の種類 看護業務と医療事故の現状	講義	復習	
11		事故発生とメカニズム、認知と自己モニタリング (診療科別事故の発生状況)	講義	復習	
12	新聞記事などから医療事故に関する事例を捉える	専門職と法的責任について 看護・医療事故予防策と看護実践	講義 GW	復習	
13	教科書を読んでおく	感染症と法的措置及び拡大防止対策(SARZ, HIV)	講義	復習	
14	教科書を読んでおく	医療施設に多い感染症と有効な感染対策	講義	復習	
15		感染防止対策に有効な看護技術	講義	復習	
評価方法	講義の出席数・参加態度、事前学習、事前学習、ペーパーテストで総合的に評価を行う				
教科書	医学書院: 系統看護学講座 看護の統合と実践(1) 看護管理 メディカ出版: 看護の統合と実践② 医療安全				

授業科目 災害看護	開講年次 2年次	開講期 後期	単位数 1	時間数 30	講師 柳澤・男席
--------------	-------------	-----------	----------	-----------	-------------

授業概要					
災害と災害時の救急医療や被災者について理解し、看護に必要な知識・技術を学ぶ					
回	教科書頁	授業計画・授業内容	授業方法	備考	
1	P4～16	災害看護を学ぶ意味 ①災害被害の国際化 ②近年の国内外の災害 ③害看護の役割 ④人道支援の原則	講義	新聞記事などから災害に関する事例を捉える	
2	P18～35	災害看護の歩み 災害医療の基礎知識 ①災害の定義 ②災害の種類と健康被害	講義		
3	P36～56	災害医療の特徴 マスギャザリングとNBC災害への対応	講義		
4	P56～78	災害と情報 災害対応にかかわる職種間・組織連携 災害看護と法律 近年の災害における課題と対策	講義		
5	P78～92	災害看護の基礎知識 ①災害看護の定義と役割 ②害看護の対象 ③災害看護の特徴と看護活動	講義		
6	P93～101	災害看護活動に必要な情報 災害活動に必要なアセスメント 災害活動場面におけるジレンマ	講義		
7	P101～120	災害サイクルに応じた活動現場の災害看護 ①急性期・亜急性期	講義		
8			講義		
9	P121～133	災害サイクルに応じた活動現場の災害看護 ②慢性期・復興期	講義		
10	P133～143	災害サイクルに応じた活動現場の災害看護 ②静穏期	講義		
11	P193～171	被災者特性に応じた災害看護の展開 ①子ども ②妊産婦 ③高齢者 ④障害者 ⑤精神障害者 ⑥慢性疾患患者 ⑦原子力災害による被災者の看護	講義		
12			講義		
13	P193～232	発災直後から出動までの看護 急性期の看護 慢性期・亜急性期の看護	演習 グループ ワーク	教科書の演習事例を行ったり、担架の作成・三角巾の使用・トリアージ・応急処置の実施など	
14					
15	p171～193	災害とこころのケア	講義		
評価方法	講義の出席数・参加態度、事前学習、事前学習、ペーパーテストで総合的に評価を行う				
教科書	医学書院：系統看護学講座 看護の統合と実践(3) 災害看護学・国際看護学				